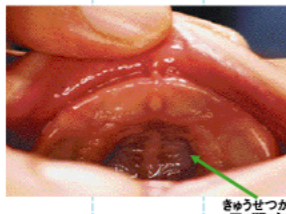
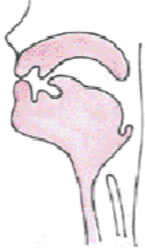



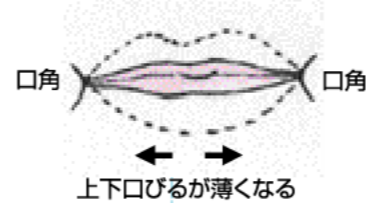
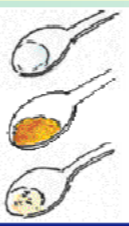




体の発達・食べる力の発達 ①乳児期から離乳の準備ができるまで

	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳(12か月)
発育 心身の	声を出す 頭を上げる		ガラガラを握る 首のすわり		声の方に振り向く	寝返りをする	積み木を持ちかえる 支えなしに座る		ママなど連続音をだす		バイバイをする つたい歩き	
発育 口腔形態の 発育・歯の萌出		哺乳に適した形態 ● 上あごは平たく、上下の歯ぐきも低い(口腔内が狭い) ● 上あごの中央部に丸い凹み(吸啜窩)がある			口蓋の高さ(上あごの深さ)が増大、あごの幅も広がり舌の動きの自由度が増す		上あごと下あごが合わさるようになる		乳歯が生え始める		乳前歯が上下4本ずつ 8本の歯が生えそろう	
摂食・嚥下機能発達	哺乳反射*1 嚥下反射*1 哺乳反射・嚥下反射による単純な乳児嚥下*4		効率よい哺乳ができる 指しゃぶりが始まる 自分の意思で哺乳を行える		成人嚥下獲得期 舌が前後に動くようになり、食べ物を口にためて、舌でのどの奥に送り、飲み込めるようになる。 ● 飲み込む時に下口びるが内側にめくれ込むことが多い ● 口角はあまり動かない ● 口びるを閉じて飲み込む ● あごの動きがみられるようになる		押しつぶし機能獲得期 舌を上あご(上の前歯の後ろのザラザラのところ)に押し付け、豆腐のような軟らかさのものをつぶすことができるようになる。 ● 舌の前後に上下運動が加わる ● 数回もぐもぐした後、あごが止まり、上下の口びるがしっかり閉じこむ ● 左右の口角が強く引けることにより、上下の口びるが薄くなる		すりつぶし機能獲得期 舌が前後、上下のほか、左右の動きがでて、指でつぶせる硬さの食物を唾液と混ぜ合わせ、口びるを閉じたままあごを上下動させ歯ぐきですりつぶす。 ● 舌の左右運動 ● 下あごの側方運動 ● 上下の口びるがねじれながら協調 ● 咀嚼側の口角が引かれる		自食準備期 座位で、手と口の協調運動や歯を使う練習等を通して、自分で食べる準備をする。	
	口の中は狭く、乳首を固定し、哺乳しやすい形態になっている				玩具などをなめる				水分を介助でスプーンから一口飲みできる Q&A②参照		水分をコップから一口飲みできる	
							手づかみ食べ*6		玩具かみ			
調理形態	哺乳期 母乳・粉ミルク		離乳食準備期 液体(果汁・スープ)		離乳食初期 ドロドロ状(ポータージュ)	離乳食中期 舌でつぶせる硬さ(豆腐)		離乳食後期 歯ぐきでつぶせる硬さ(バナナ)		自立期 歯ぐきでつぶせる硬さ(肉だんご)		
			ごはん 野菜 魚・豆腐等			7倍がゆ 軟らかくゆで、2~3mm角に切る ゆでて小さくほぐし、スープで煮、とろみをつける		5倍がゆ 軟らかくゆで、5~7mm角に切る ゆでて5~7mm角に切り、スープで煮、とろみをつける		軟飯 2cm位のスティック状にゆでる 2cm位のスティック状に油で揚げる		
育てるポイント			● 平スプーンを下口びるにのせ上口びるが閉じるのを待つ。(Q&A④参照)		● スプーンを下口びるにのせ上口びるが閉じるのを待つ。		● 指でつぶせる軟らかさで、形のある食物を介助者が手で持って、前歯を使ってかじり取らせ、かみ切らせる。		● 軟らかで形の大きな食物を介助者が持ちかじり取らせる。ぐちゃぐちゃ遊びをたくさんさせる。			
問題点と原因			● 拒食 ● 口の周りを触られるのを嫌がる(過敏*2) ● 誤嚥 ● 哺乳反射*1等(原始反射)の残存		● 食物を取り込むときに口を大きく開けすぎる(過開口) ● 食物を取り込むときに舌を突出してこぼしてしまう(舌突出*3) ● むせ ● 乳児様嚥下*4 ● 逆嚥下*5 ● 舌で食べ物を押し戻す		● チュチュ食べ*7 ①② ● 食物や舌がでてくる ① ● 水分を口角からこぼす、コップでむせる ①②		● 口にためて飲み込まない ②③ ● 食物が口腔前庭*8に残る ①②③ ● 丸飲み*9 ①②③			

[語句の説明]

*1 哺乳反射・嚥下反射:意志とは関係のない本能的な飲み込む動き
 *2 過敏:Q&A⑥参照
 *3 舌突出:舌の上下の動きが獲得されていないため食物が入ってくると舌が前後に動き突出してくる
 *4 乳児嚥下と乳児様嚥下:舌突出型嚥下である乳児嚥下は、新生児期や離乳初期では正常な動きであるが、乳児嚥下が成人嚥下に移行できず年長になっても残っている場合、乳児様嚥下という
 *5 逆嚥下:舌根部を押し下げて嘔吐の動作に似た動きでのどの奥を広げ、食物を落とし込むような嚥下
 *6 手づかみ食べ:器具を使わず、手づかみで口に食物を運ぶ。一口量を覚えたり、手指の握りや手と口の協調運動の発達を促し、かみ切る力をつける(Q&A③参照)
 *7 チュチュ食べ:おっぱいを飲むようにチュチュという動きで食物を飲み込もうとする食べ方。口腔機能の発達に調理形態があていない機能の面からと、食事の強要、外遊びの不足などストレスがたまり心理的な面からチュチュ食べがおこることもある。心理面からおこっている場合は、生活全体を見直す必要がある
 *8 口腔前庭:3~4歳ページ写真参照
 *9 丸飲み:固形食をかまさないで大きいまま飲み込む。咀嚼しないので、食物を味わうことが困難となりやすい